

ふれあい情報

2025 年 10 月 7 日 (火) 第 403 号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 宇田川浩一
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11



日本退職者連合
 HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

「2025 全国高齢者集会」開催

<スローガン>

“生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう”



主催者を代表して挨拶する野田会長（中央）、役員（左側）、来賓（右側）

9月18日（木）、文京シビックホールで「2025全国高齢者集会」を開催しました。今年は戦後・被爆80年、各地で様々な取り組みが行われています。今年も核兵器廃絶に向けた活動が続いている元長崎県高校生平和大使に参加していただき、被爆地としての取り組みと活動内容を報告していただきました。また、警察庁特別防犯対策監となっている俳優の杉良太郎さんを講師に迎え「世のため、人のために どう貢献するか」をテーマに講演を行いました。

全国から1300人の会員が参加し、盛大に開催!!

主催者代表挨拶
野田 那智子 実行委員長
 2025全国高齢者集会に全国各地から参加された皆さまに感謝致します。また、日頃より全国で日本退職者連合の活動に取り組まれている皆さまに敬意を表します。主催者を代表して一言ご挨拶させていただきます。

司会の小澤副会長
盛大な和太鼓演奏のオープニングで始まりました。

集会は、小澤利野副会長の司会で開会し、創作太鼓を演奏するチーム「暁鼓遊（あかつきこゆう）」の皆さんのバチ先に込めた

戦後80年
 広島と長崎に原爆が投下されてから80年が経ちました。いま、被爆者の願いとは裏腹に世界では核の脅威が横行しています。惨禍を絶対に繰り返さぬよう訴え続けることは、私たちの使命であり、節目の年に「核なき世界」への誓いを新たにしたいと思えます。核兵器廃絶と恒久平和の実現をめざし「核兵器廃絶100万署名」の取り組みを進めていますので、署名へのご協力をよろしくお願ひします。お金を生きている人のために使ってほしい。人を殺傷する武器を買うために



連合構成組織OB・OGの皆さんも所属している創作和太鼓チーム「暁鼓遊」の皆さん

使ってほしくありません。
私たちを取り巻く環境

与党は昨秋の衆院選に續けて参院選でも過半数を割り、連合と退職者連合が推薦した候補者全員の当選にはなりませんでしたが、酷暑の中での会員全員の取り組みに、心より敬意を表します。SNS や AI による選挙で多党時代となりました。

自民党総裁選で、政治的空白が続いていますが、物価高対策、政治とカネの問題への対応は棚上げにされたままです。高齢者の貧困率は20%と若者よりも高く、貧困者の4割近くが高齢層です。さらに男性高齢者より女性高齢者の方が高いのです。生活苦は「自己責任」ではありません。

最後に、朝が来ない日はないことを参加者のみなさまと共有したいと思います。少子高齢化や物価高を背景に年金、医療・介護など社会保障制度の運営は厳しさを増しています。

人と人との間に壁をつくらば、民主主義は足元から崩れます。世代間対立は避けて、

みんなが生きやすい社会を創りあげていくことが大切です。

日本退職者連合は、将来に向けて、女性と男性が等しく権利や発言を得ること、そして誰もが生きやすい社会を目指していきます。

来賓あいさつ主旨

清水秀行 連合事務局長

連合は、10月に第19回定期大会を開催し、新たな活動方針を決定して運動をスタートする予定としている。

第27回参議院選挙では猛暑の中、最後まで現退一致で一緒に戦っていただいた全国各地の皆様のご奮闘に心から感謝を申し上げます。比例代表において構成組織が擁立した代表一人の惜敗を許したことは痛恨の極みであるが、参議院でも与党の過半数割れという結果は、国民が与党にNOを突きつけたということである。2025賃上げ率は、昨年より0.15ポイント増となり2年連続で5%を超えたが、実賃金は依然としてマイナスで推移しており、引き続き次期闘争への準備を整えていく。

退職者連合の皆様には様々な場面で助けていただき、大変お世話になったことに感謝を申し上げます。



忙しい中、
出席していただいた来賓の皆さま

立憲民主党

野田佳彦 代表

退職者連合の野田会長は、女性の会長として初めてということで、あらゆる場面において大いに期待をしたい。

核廃絶に向けて、立憲民主党は今年3月のニューヨークでの核兵器廃絶締約国会議を含めて1回目の会議からずっと議員を派遣してきた。今まで以上に力を入れて核廃絶に向けての取り組みを強化していきたい。

日本退職者連合から要請された政策・制度要求をしつかり受け止めて対応していく。

社会民主党

ラサール石井 参議院議員

平和を守るために退職連合の皆様が精力的に取り組んでいることに心から敬意を表します。いま日本社会は、排外主義、優生思想、高齢者差別といったマイノリティの排除など危機感を抱かざるを得ない。人間にファーストもセカンドなどはなく、最低保障年金制度の実現や福祉や医療、教育など公共分野の無償化を実現していくことが重要である。そして、小中高生などの若い人と高齢者の人達とのネットワークを充実させて、日本社会をと

もに考えていく運動を進めて次の世代につないでいくことが大切。

国民民主党

浅野哲 青年局長

多くの先輩方が、次世代に継承し続けてきてきた平和への思いを自分の世代や子どもの世代にしっかりと伝えていきたい。衆・参で少数与党になったことで、与党の対応に大きな環境変化を感じている。職場の声をもっと多く議会に反映し、各政党の仲間が声をひとつにして政策実現に努めていかなければならない。国民民主党として邁進をしていきたい。

「世のため、人のためにどう貢献できるか」

講師 杉 良太郎さん (警察庁特別防犯対策監)

警察庁特別防犯対策監の杉さんから、国際電話を利用した詐欺グループからのオレオレ詐欺撲滅のために国際電話利用休止の推進や自分の人生を楽しく幸せに生きていくには、どうしたらいいのかなどについて、人生経験を交えて様々な角度から話をいただきました。

また、人権問題における日本の法律の矛盾点など問題提起もされ、今後の退職者連合運動のひとつの課題となる内容でもありました。アンケートでも、とても分かりやすい内容で勉強になったし、これからの人生に生かしていきたいなどが書かれていました。

貴重なお話を
ありがとうございました。



2025 年

地方代表者会議を開催

9月19日(金) ルポール麹町

2年ぶりに地方代表者会議を開催して、「2025年度運動方針」の具体化に向けて意思疎通を図りました。会議では、今年度の主要な活動と政策・制度要求実現に向けた各地域における取り組みについて意見交換し意思疎通を図りました。会議の後半は、連合清水事務局長を講師に「現退一致の組織拡大の取り組みをめざして」をテーマに学習会を行いました。

最年少の外交官 高校生平和大使の取り組みについて

「人類は核兵器と共存できない」

今年は被爆地・長崎県の元高校生平和大使で、現在は東京の大学に通っているお二人に、長崎で小学生に対する平和教育や学習会の取り組みや「核兵器禁止条約締約国会議」への参加やノーベル平和賞



左側：木場 笑里さん
右側：安野美乃里さん

を選考するノルウェー・オスロへの訪問など、これまでの活動や核兵器廃絶の取り組み、そして平和への深い考察を報告していただきました。



当日会場での**カンパ額 260,776 円!**
ご協力ありがとうございました

＜全国高齢者集会実行委員会の構成団体＞

日本退職者連合・連合・中央労福協・労金協会
こくみん共済 coop・運輸労連(オブ参加)



会場参加の地方代表者 (web 併用で開催) 於ルポール麹町 2F ルビー

野田会長あいさつ

会議は、前日開催した「2025全国高齢者集会」に参加した地方代表者とweb参加者により開催しました。



今年は、皆さんのご協力を得て地方代表者会議を開催することができました。改めてご協力に感謝申し上げます。今日はウェブで参加されている方も含めて、全員参

加ということで進めていきたいと思っています。

最初に、今回自民党の総裁選が終了したら、臨時国会が開催されることと思っています。

その中で、各省庁から出された概算要求がこれから議論されることになりましたが、今のところ、防衛費は8兆円の概算要求となつていますが、ウクライナ情勢等を鑑みますと、さらにオーバーするような状況です。

今日、9月19日は安保法が施行されて、ちょうど10年になります。10年前の当時は、国会周辺で約12万人のデモ行進を行いました。安倍首相の数の力による強引な進め方で「安保法」が制定されてしまいました。あの時も夜中の2時ごろまで議論して成立させたというような状況ですけれども、やはり、憲法9条違反であることは間違いないと思つています。

退職者連合は、これからも平和を守るために運動を進めていきたいと思ひますので、皆さんのご協力を宜しくお願いし、挨拶とします。

運動方針の 具体化について提起

ポイント

◎政策制度関係

関係省庁・政党・地方自治体に対して要請行動を実施する。地方における行動は、来年1月31日までに各地域の要求を加えて、自治体や政党に要請行動を展開します。

また、取り組みにあたつては、連合と連携し行動していきます。

◎組織強化・組織拡大

第2次組織拡大プラン・第2次アクションプランに基づいて取り組みを進めていきます。ホームページや機関誌などを活用して退連の活動内容をより多くの人に周知する。

◎ジェンダー平等

第2次行動計画(2025年7月〜2030年7月)の目標達成に向けて取り組む。「第6次男女共同参画基本計画」および「選択的夫婦別姓制度」への取り組みを進める。

◎平和運動の取り組み

連合の「核兵器廃絶100万

署名」を積極的に取り組む。

国際紛争の早期停戦と人道危機への支援に向けた取り組みを進める。

◎環境・防災の取り組み

大規模災害時の対応に備えて、地域の自治会や防災会議において、男女共同で災害に強いまちづくりを進める。

以上の取り組みを提起後、質疑・応答を経て運動の具体化について確認しました。

質疑の概要

北海道退連

いま、身元保証問題で、多くのトラブルが起きている。

厚生労働省が今年度中に新たな身元保証制度のあり方を検討することになっているので退連として対応してもらいたい。抗がん剤や手術によってカツラを必要とする人に対して、自治体からの補助金制度について取り組んでいるので、全国的な展開ができないか。

地域における政党との連携によって退職者連合の存在感を示せるように運動している。

(事務局)

身元保証については退連として国交省に要請してきた。厚労省と共同で取り組みを始めたとの回答を得ており、今後視野に入れて取り組む。カツラの補助制度は各自治体で対応できればと思う。

岐阜退連

組織強化・拡大の取り組みで、どのようなスケジュールで運動展開をしていくのか。

組織拡大の取り組みで、加入するメリットがないと言われるが、どのように説明していけばいいのか。

(事務局)

組織強化・拡大については、第2次組織拡大プランの第2期アクションプランに基づいて取り組んでいく。組織加入に伴うメリットの説明は、やはり将来にわたって平和で安心して暮らせる社会をめざすことが一番のメリットではないか。

宮崎退連

イスラエル・ハマスやロシア・ウクライナの紛争などに対して具体的にどのような運動をしていくのか。

参議院選挙における反省

的点が多いと思うので、総括をして、今後の取り組みにつなげていくべき。

(事務局)

紛争停止への取り組みについては、連合や関係政党と連携して要請行動や大衆行動等に取り組んでいきたい。参議院選挙については、結果を踏まえた談話を発信してきた。今後の対応についても引き続き検討していく。



学習会「現退一致の組織拡大の取り組みをめざして」

講師 清水秀行 連合事務局長



清水事務局長より、連合構成組織・地方連合会における組織拡大の取り組み状況や現役役員の活動などについて説明があり、確実に組織拡大実績は増えているが企業統廃合や組織再編等により、結果として横ばい状況となっている。引き続き 800 万組織に向けて取り組んでいくとしました。

また、退職者連合の組織拡大への対応については、定年退職後～再雇用期間～退職の期間における現役役員と退職者連合役員の連携した取り組みが極めて重要になるのではないかと、との指摘もいただきました。いずれにしても、連合の役割～産別・関連組織の役割～退職者連合の役割が連携することによって、地域活性化・地域労働運動活性化につながることになる。

そのために、連合組織と退職者連合が意思疎通を図りながら進めていくことが大切である、との話をいただきました。

